

富士特別支援学校富士宮分校 令和6年度 第1回 学校運営協議会

【報告】

1 学校運営協議会委員（敬称略）

山元 薫(やまもと かおる) 静岡大学准教授
遠藤 久仁子(えんどう くにこ)富士宮市社会福祉協議会事務局次長
杉浦 博(すぎうら ひろし) 琴平区長
関澤 新一(せきざわ しんいち)株式会社 大一セラム 代表取締役
山野 良成(やまの よしなり) 静岡県立富士宮北高等学校長
大村 貴洋(おおむら たかひろ)令和6年度PTA会長

【教職員】

高田 宗享(たかだ むねたか) 校長
川上 健治(かわかみ けんじ) 教頭
山下 憲市(やました けんいち)高等部主事
大河原 明希子(おおかわら あきこ)教務主任

2 次第

- (1) 開会 進行（教頭）
- (2) 校長あいさつ(高田校長)
- (3) 任命状交付(高田校長)
- (4) 自己紹介
- (5) 学校運営協議会会長、副会長の選任(教頭)
- (6) 令和6年度 学校経営計画について(教頭)
・学校経営計画について ・学部教育活動について
- (7) 議事 司会:会長
 - ① 学校経営計画の承認
～協議～
 - ② 「地域とのつながり」～分校をさらに良くするために～

校内参観(主事)

- (8) コンプライアンス委員会
・令和6年度不祥事根絶取組計画

校長あいさつ(高田校長)

- (9) 閉会（教頭）

○校長あいさつ

・生徒の実態も多様化し、昨年度、富士東分校も開校した中で、入学生徒の定員も割れている状況である。生徒の実態や学び方も考えていくこと、教職員も認識を変えていきながら、新たなステージへ進む富士宮分校になるであろう。そうした中で、地域とのつながりを深めるための助言をいただきたい。



○任命状の交付 ～各委員に校長より交付～

○自己紹介 ～委員の皆様より一言ずつご挨拶いただく～

○学校運営協議会会長 副会長の選任

会長 山元 薫 様 承認
副会長 大村 貴洋 様 承認

○学校経営計画 学部教育活動について(教頭)

グランドデザインと学校経営計画の説明 学部目標 これまでの教育活動
生徒の状況(卒業生の進路先含) 教職員の構成

○議 事 ※進行:山元会長

☆学校経営計画について

【経営計画について委員の皆様より質疑また感想をいただく】

委員)ホームページに関して、高校も4月よりInstagramを導入。難しさを感じながらではあるが、スマホ対応という利便性。運用ポリシーをしっかりと行うことや管理職が俯瞰して見ていくことで上手くいく。

委員)他県の特支もインスタで情報を提供している。

委員)昨年度も地域防災の発表が素晴らしかった。

とても立派だった。

委員)学びをどう還元し、社会に出たときに活かしていけるか。

委員)防災に関して 実際に起きたときに自分の身が大丈夫なら周りの人を助ける行動(共助)を。この地区では水害はない。大沢崩れがどこまで土砂がくるか、消防車が入れない狭い道路もある。消火器はどこにどれだけあるのか?初期消火が大切。

委員)企業側から考えたときに、大人とのコミュニケーションはどうか?社会に出たとき、自分が一番下の立場になる。その視点があると。卒業後の基礎になる。

『This is me』の授業、自分を見返して伝える。キャリアパスポートがあるからこそできる。困難にぶつかったとき、どう乗り越えてきたのか?そのときの情報があると企業に入ったとき、スピード感をもって対応できる。こじれる前に…

委員)「しなやか」については、生徒もそうだが先生方も大事。志を活かせる方法、活かせる環境を整えることの大切さ。

委員)SNS等については親としてわからないことも多い。使い方を身につけること。親がどこまで関わっていけるか、スムーズな解決には親と一緒に。関係性づくりの大切さ。



学校)SNSに関しては、外部から講師を入れて講座等を実施している。生徒の方が使い方は先に進んでいる場合もある。

生徒主体のルール決め(LHR、情報)、昨年度からの学習により、ブロックや相談等の対処法を学び、早めに行えるようになってきている。

学校としては指導を継続していくが、どこまで関わっていいのか？役割分担(保護者と一緒になって進めていきたい)が大切であると感じる。悪いことだとは分かっているけど自分でセーブできないこともあり得る。また失敗から学ぶこともあるが、在学中なら指導ができる。就労後のトラブルにつながることもある。

委員)トラブルに関して3つのポイントがあると思う。①巻き込まない②発信しない③メンタルを保つ。(裏アカ等)どこまで介入するのか。本人が知らなくても伝えてくれる人がいる。発信した人には毅然とした態度で対応することの大切さ。

委員)防犯教育にもつながる。また、道徳とも関連して生徒を育成していく。

委員)学生の中には、インスタで事前リサーチをして人と関わるといったコミュニケーション(アナログとインスタを行き来している)もある。高校生と悩み相談をしてみる。子どもたち同士で。世界観の違い、年代によってインスタの内容も違う。違う世界の中でコミュニティを作っている。大学生も悩んでいる、共有してみるのも・・・。

※委員の皆様からたくさんの御意見や御感想を伺うことができました。

承認

○協議

「地域とのつながり」～分校をさらに良くするために～

- ・防災のこと 学校での経験、自分の居住地に戻って活かせる。
- ・キャリアパスポートのこと どう地域と連携していくか。 など

委員)防災について 富士地区ではメール(アプリ)が進んでいる。この地域では避難所等障害者を受け入れられるところが不足している。行政との協力も必要。受け入れ体制が明確になると安心できる。

委員)地区でやっている行事は土日が多い。夏祭りや子供会など子どもの減少傾向や親の意向。一緒にやれるなら、防災 秋まつり 清掃など。

学校)授業の中で、人材活用。学習の中で物との関わりだけではなく、人との関わりができるとうれしい。また、長期休み等を利用したボランティア活動等はどうか？

委員)高齢者の生活支援といったボランティア活動で高校生が参加しているケースもある。また、いろいろな高校で寄合処を開いている。

委員)あちこちでいろいろなイベントが行われている。近くに参加してみるのもありでは。

学校)作業学習の農園芸班の野菜の育て方など、地域の方にレクチャーしてほしい。また、地域の方に作業製品(農作物)の販売はできないか？宮分マーケットだけでなく地域の方が気軽に立ち寄れる場所に。部活動では、音楽部の演奏・発表のときに地域の方にも見てもらえたら・・・一つの活動を積み重ねながら地域を巻き込んでいければと考えている。

委員)この地域は全部で12区ある。学校近隣は琴平区で行政区461世帯である。

委員)農民市場 ブースを作り、毎月だいたい決められた時期に販売できると・・・
富士宮高校会議所との連携とはどうか？

委員)他県では売りに行くような学校もあり、スーパーにないような野菜を安く。戦略。地域の要望を知る、地域でどう生きていくのかを考える。

この土地でどう地域とつながると子どもたちが…を考えたときに、「だれとつながりたいのか」「どういうボリュームで、どれくらい」教育課程の編成も？

学校)大きく変えるというよりは今ある学習の中で、広がりや深みをもたせたい。生徒総会でも生徒の声から「地域の人に認められたい」という思いがある。そのための仕掛けを考えていきたい。高くハードルを上げず、かしこまらずに。

委員)昔は地域に育ててもらった。地域の中で一緒に面倒を見ようという流れで、自己を形成していく。今は、バーチャルの世界の中に自分の居場所がある。スマホがないと生きられない(良さと不便さ)。将来的には教育課程も…今やれるのはこれ。いずれはあそこまで。

委員)高校では、これまでの歴史がある中で今までの歩みでよいのか？職員全体で共有している。オンリーワン事業では、グローバルな人材を育てる中で、つながる仕組みを作り、生徒の自己実現に向けての取組をしている。また、部活の中で生徒を育むということもある。何かにぶち当たったときに立ち上がる、立ち直る力の育成。それを地域とつながるように意図的に設定する。理念 何を指すか、そのための具体策を行き来する。理念は共有しておかないと方向性がバラバラになってしまう。



委員)本人、保護者、就労先とのつながり。高等部 3年間で完成でなくても社会にどこまでできているかを発信していくこと。完成形は求めている。いろいろな人と出会い、いろいろな問題が起きる。そんなときに基礎基本を知っている、自分のことが分かっていることが大切になる。会社とのつながりを深めるためにも、会社見学を生徒だけでなく、保護者も交え、取組を工夫してはどうか？広がりが出るのでは。

委員)東京では、5日間ずっと同じ場所ではなく、1日体験といった形で何か所かいく。そうすることで、地域が見えてくる。つながりをどう見せていくか。

学校)今後も一緒になってつなげていけたらと考える。地域とのつながりだけではなく、定着支援、共生共育の充実といったことにも目を向けていきたい。

○校内参観



【委員の皆様からの感想】

- ・まとまっている、集中しているという印象。勉強していても挨拶をしてくれる。
- ・普通の授業をしている。先生方の自分に向けるやり方。向かう姿。
- ・レベルが上がっている。IT化、教室環境の格差。
- ・自信をもって発言している。
- ・先生方のもじもじさせない努力。絵を描くときの表情。ほめて伸ばし、感性を豊かにし、知識やスキルを伸ばすことで生徒たちの内面で自信につながっている。
- ・楽しそうにやっている。中学時代何もできずに困っている姿を見てきたから。熱心にやっている姿を発信できれば、見た方も感心をもっていただける。

○コンプライアンス委員会

☆令和6年度不祥事根絶取組計画の説明 教職員の生徒指導に係る共通ルール

☆4月5月の取組について

○校長あいさつ

○閉会

表現方法や言葉、ワード等で正確ではないところ、また発言内容を一部解釈し、変換した表現になっている部分もあります。
御理解御了承いただきますようお願い申し上げます。

次回のお知らせ

～第2回学校運営協議会～

日時 令和6年11月7日(木)午前9時から午後11時まで(予定)

内容 地域資源の活用

前期学校評価から今後の課題について (案)